

三ツ沢公園「再整備基本構想(案)」の

見直しと再検討を求める署名

横浜市が2022年8月に発表した「三ツ沢公園球技場を含む公園再整備の考え方(案)」(以下再整備案)は、2023年6月21日に横浜FCの親会社が新しい球技場建設の提案を撤回しました。横浜市は新球技場の建設を含む「再整備案」の検討を引き続き進めていく姿勢を明確にしています。再整備案について横浜市は市民の意見を募集し2,946通の意見があったと発表しました。

コロナ禍前の2019年度の公園内有料施設の利用者数(公園管理者等の事業報告書)は三ツ沢球技場31万人・陸上競技場18万人・補助陸上競技場15万人・庭球場15万人・馬術練習場1.2万人・青少年野外活動センター2.2万人です。三ツ沢公園は散歩やジョギングなど施設以外の利用者と、周辺には数十万人の人達が住んでいます。2,946通の意見だけでは多くの公園利用者と地域住民の意見を十分に聞いたとは言えません。また新球技場建設で①テニスコートの一部と野外活動センターがなくなる危惧があります②市民の遊び・運動の場である自由広場がなくなる危惧があります③散策やジョギングの場であるトリムコース縮小の危惧があります。再整備について、市民の意見は「大型開発はやめ、市民の意見を生かした計画に」や「財政難の中でテニスコートを潰し桜の木を伐採する新球技場建設に反対」など再整備への疑問や反対の意見が多数出されています。

私達は横浜市に対し再整備は一度立ち止り見直すために下記の事を求めます。

- ① 横浜市は新球技場の建設を含む「再整備案」を一旦白紙に戻し再検討を行うこと。
- ② 再検討にあたっては、住民と利用者の意見を汲み尽くす取り組み(地域ごとの説明会と意見聴取、利用者への説明会と意見聴取など)を大規模に行うこと。そして、寄せられた意見を尊重する姿勢を貫くこと。

2023(令和5)年8月

横浜市長 山中竹春 殿

| 氏名 | 住所 | カンパ |
|----|----|-----|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

この署名は個人情報保護のために横浜市に提出する以外に使用しません

署名呼びかけ人 井上明美(保土ヶ谷区峰沢町在住) 金馬国晴(横浜国立大学教育学部教授)
島崎ふみひこ(会社役員・三ツ沢南町在住) 中込晴夫(保土ヶ谷区常盤台中部自治会副会長・横浜市環境事業推進委員) 本田正男(弁護士・神奈川区在住) 山崎圭一(横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授)

三ツ沢公園の自然と緑を守る会

【連絡先】 Mail: mirai.3sawa.park@gmail.com オンライン署名: <https://chnng.it/VZdZ8RwxVY>
FAX: 050-3588-4036